

令和7年度 横浜氷取沢高等学校 国際交流(フィリピン)の取組

1. これまでの取組

フィリピンのアサンプションカレッジ(Assumption College San Lorenzo)とのオンライン交流は、令和3年度、外国語指導助手の紹介によりボランティア部で開始し、お互いの学校の環境保護の取組に関するディスカッションや家庭料理の紹介などを行ってきた。令和6年度はボランティア部国際交流班の生徒たちがアサンプションカレッジの生徒たちと全3回のオンライン交流を実施し、互いの学校紹介や郷土料理・文化についてディスカッションを行った。

2. 本年度の取組

本年度はより多くの生徒がオンライン交流に参加できるように、本校の学校設定科目コミュニケーションスキルズⅠの授業内で実施した。生徒は事前に英語のプレゼンテーション資料と原稿を作成し、リハーサルを行った上でオンライン交流に臨んだ。Zoomでブレイクアウトルームを作成し、グループごとにプレゼンテーションをした後、ディスカッションを行った。

日程(合計3回)

11月5日(水) 4時間目	12:10~12:50 (フィリピン時間 11:10~11:50)	1年6組生徒
11月17日(月) 2時間目	10:10~10:50 (フィリピン時間 9:10~9:50)	1年5組生徒
1月26日(月) 3時間目	11:10~11:50 (フィリピン時間 10:10~10:50)	1年9組生徒

3. 交流の具体的な内容

- ① 11月5日(水) 3時間目 12:10~12:50 (フィリピン時間 11:10~11:50) 1年6組生徒
フィリピンアサンプションカレッジの学校紹介と日本文化の紹介
- ② 11月17日(月) 2時間目 10:10~10:50 (フィリピン時間 9:10~9:50) 1年5組生徒
横浜氷取沢高校生徒による学校をさらに良くするための企画のプレゼンテーション
学校を良くするためのアイデア発表
- ③ 1月26日(月) 3時間目 11:10~11:50 (フィリピン時間 10:10~10:50) 1年9組生徒
横浜氷取沢高校生徒による学校をさらに良くするための企画のプレゼンテーション
それぞれの学校を良くするためのブレインストーミング

4. 参加した1学年生徒の感想(抜粋)

- ・フィリピンの生徒の英語力が高く、自然な英語の発音だったため、言っていることを理解するのが難しい部分もあり少し難しかったと感じました。同時に、英語力を高めてスムーズな会話ができるようになりたいと思いました。フィリピンは日本と同じアジア圏ですが、学校生活では異なる点があり、とても興味深い内容でした。自分たちの発表の際には用意した内容のみの発言だったため、話が広がりづらく臨機応変に英語を使う力もまだまだ不足していると感じました。高校三年間の中で英語力をつけて海外に行っても対応できるように努力したいと思いました。
- ・他の国の色々な場所を知ることができてとても良かったです。他の国の人と交流する事なんてほとんどない貴重な体験だったと思うのでとても嬉しかったです。日本の文化とはまた違う一面が少し見えて面白かったです。少し外国の文化に興味を持つきっかけになったと思います。でも、少しの時間でしか交流が出来なかったのもっと深く知っていきたいと思いました。

5. 今後の展望

昨年度まではボランティア部の活動として行ってきたこのオンライン交流を学校設定科目コミュニケーションスキルズⅠの授業で実施することによって、より多くの生徒が関わることができた。しかし、3回という限られた機会の中で1学年9クラスすべてにおいて実施することは難しい。ハウリング・Wi-Fiの問題や、ブレイクアウトルームの作り方などにも工夫が必要である。今後は動画を送り合い、それについてのビデオメッセージを作成するなど、この交流を大切にしながら、学年すべての生徒が何らかの形で交流に参加できる方法を模索していく必要がある。